

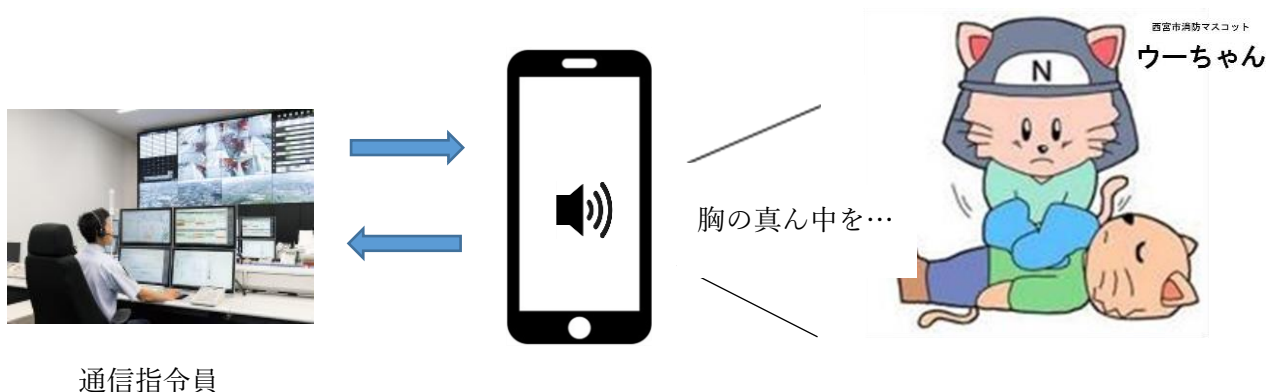
「救急蘇生法の指針 2020（市民用）の主な変更点

1. 【反応の確認】 テキストP. 10①心肺蘇生の手順②反応（意識）を確認する

傷病者発見時の対応手順において、反応がない場合だけでなく、**反応があるかないかの判断に迷う場合、またはわからない場合も**、心停止の可能性があるものとして行動するとされました。

2. 【口頭指導について】 テキストP. 10①心肺蘇生法の手順③119番通報と協力者への依頼

119番通報時において、**電話のスピーカー機能などを活用すれば**、通信指令員の口頭指導を受けながら胸骨圧迫を行うことができるとされました。



3. 【呼吸の確認】 テキストP. 10①心肺蘇生法の手順④呼吸の確認

呼吸の確認と心停止の判断において、「**普段どおりの呼吸か**」どうか判断に迷う場合、またはわからない場合も、心停止と判断して胸骨圧迫を開始するとされました。

4. 【AEDパッドの名称変更】 テキストP. 16 **ポイント**、P. 23 **7** AEDの使用

従来の「小児用パッド（モード）」が「**未就学児用パッド（モード）**」に、
従来の「成人用パッド（モード）」が「**小学生～大人用パッド（モード）**」に
名称が変更されました。

5. 【オートショック AED について】 テキスト P.2³ 一次救命処置 (2) AEDとは

電気ショックが必要な場合に、ショックボタンを押さなくても自動的に電気が流れる機種「オートショック AED」が 2021 年 7 月に認可されました。

傷病者から離れるように音声メッセージが流れ、カウントダウン又はブザーの後に自動的に電気ショックが行われるため、音声メッセージなどに従って傷病者から離れる必要があります。

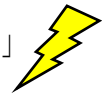
右のステッカーが貼付されている AED は、ショックボタンがなく自動的に電気ショックが行われますので、操作される際は、御注意ください。



例) 「電気ショックが必要です。」

→ 「患者から離れてください。電気ショックを行います。3, 2, 1」

→ 「電気ショックが行われました。」



6. 【気道異物の除去】 テキスト P. 19³ 気道異物の除去 (1) 傷病者に反応がある場合

反応があるが、咳をさせても異物が排出できない場合は、まず背部叩打法を試みて、効果がなければ腹部突き上げ法を試みるとされました。

7. 【新型コロナウイルス感染症流行期への対応】

- ・ 傷病者に近づく前にマスクを着用する。
- ・ 反応、呼吸の確認をする際に傷病者の顔にあまり近づきすぎないようにする。
- ・ 胸骨圧迫する前にマスク、ハンカチ、タオル等で傷病者の鼻と口を覆う。
- ・ 成人の場合は技術と意思があっても人工呼吸を実施せず、乳児・小児の場合は技術と意思があれば人工呼吸を実施する。
- ・ 傷病者を救急隊に引き継いだあとは、すみやかに石鹸と流水で手と顔を十分に洗う。